

**重要政策の“舵取り役”に
シッカリと応える覚悟で
(内閣府副大臣室)**

**翁長沖縄県知事と
活発な意見交換
(副大臣室)**



**第4次安倍内閣において
内閣府副大臣を拝命
(首相官邸)**



衆議院議員 **あかま二郎** Photo Report

内閣府副大臣として政府全体の“舵取り役”担う

—「防災」「沖縄基地問題」など
重要政策に強力かつ迅速に挑む—

副大臣就任以降、「ところで内閣府って何をする役所？」とよく聞かれます。

簡単に言えば、“内閣全体”で推し進めなければならない重要な政策を担当しているのが内閣府なのです。

つまるところ、内閣府は各省庁にまたがる政策を企画立案・総合調整する役割を担い、内閣・内閣総理大臣のリーダーシップ発揮を補佐する役割とも言えます。

それだけに内閣府の仕事はとて幅広く、驚くことに、私は内閣府副大臣として5人もの大臣に仕える立場なのです。

5人
の
大
臣
に
仕
え
る

菅官房長官を始め、防災、沖縄・北方、科学技術、サイバーセキュリティを担当する大臣が内閣府副大臣の“上司”となります。

5人の大臣の下、予算の取りまとめ、防災、沖縄基地負担軽減、消費者庁、食品安全、領土・領海、科学技術・イノベーション、宇宙開発、知的財産戦略、サイバーセキュリティ、公正取引委員会…、全てを担当しなければなりません。

これらの重要政策をいかに強力かつ迅速に進めることが出来るか、重責を担う覚悟を成果で示していきたい、そんな思いで職務に邁進してまいります。

現地での活躍と無事の帰国を!



PKO 司令部要員派遣 出発式で自衛隊員に激励

迅速な対応で“生命を守る”!!



的確な状況把握と被害の最小化に向け災害警戒会議



“重くのしかかる負担”

「普天間飛行場」を前に佐喜眞宜野湾市長から“厳しい現状”を伺う

「北方四島は日本の領土！」



元島民と共に「北方領土返還要求アピール行進」

沖縄・北方担当副大臣

早速、沖縄現地入り

沖縄担当として、真っ先に沖縄現地入りしました。

沖縄が抱える課題は複雑で歴史的な経緯があるからです。内地（本土）からは見えづらい“沖縄の心情”を直接、伺う機会を早急に持つ事を意図した沖縄訪問と言えます。

かつての沖縄戦とそれに続く長きにわたる米軍の統治により、今なおも、本土との経済格差や重い基地負担は続いています。事実、沖縄は一人当たりの県民所得は毎年のように全国最悪。そして、日本の0.6%にあたる面積（沖縄県）に、在日米軍基地（専用施設）の約70%が集中しているのです。

「負担」の現実と「成長」の潜在力

しかしながら、沖縄は東アジアと日本本土の中心に位置しているという地理的特性を活かしつつ、アジアの成長を取り込む“拠点”としての地歩を固めつつあるのも事実です。

とりわけ、観光や物流といった分野で積極的な投資を呼び込み、経済的に“独り立ち”し始めてもいます。

こうした現状を踏まえ、担当副大臣として、沖縄の基地負担をいかに軽減しつつ、日本経済を牽引するエンジンとしての潜在力をいかに引き出していくのか、沖縄の方々とともに取り組んで行かなければならない、という思いを新たにした沖縄現地入りでした。



宜野湾市の約1/4を占める普天間飛行場



沖縄は“アジアの玄関口”！



平和への願いを込め
沖縄平和記念公園 神奈川の塔



世界No.1の科学技術拠点へ
沖縄科学技術大学院大学(OIST)副学長と



那覇空港滑走路増設 増え続ける利用に対応

気になる OneShot

自動走行の実用化 目前！ 残る課題は……。

「あかまさんの愛車？」などと聞こえてきそうですね？

写真は「自動走行機能搭載のHonda車（レジェンド）」です。

自動車メーカー各社がしのぎを削る「自動運転」。その開発を推進する担当副大臣として、この目で確かめてまいりました。

今回の試乗は「首都高〈台場IC-汐留IC〉片道4.6km」のルートです。現段階での自動運転は、運転席にヒトが乗った状態で「自

動運転システム」をON/OFFにする形です。

高速道路へ入ったところで、「自動運転システム」をON。運転手がハンドルから手を離しても、車はスムーズに合流、車線変更し、前の車との車間距離もしっかり保って“安全走行”。助手席に座っていても「今、本当に手を離しているの？」と確認するほどです。

国は、2020年までの「高速道路での高度自動運転システム」の

導入を目標としています。すでに技術的課題はかなりクリアされてきています。ただ、「自動運転車が事故を起こした場合、誰が責任を負うのか」などクリアすべき問題はまだまだあります。

将来、「自動運転」が“確立”されることで、間違いなく交通事故は減らすことができ、高齢者等の移動手段としての活用も期待できます。それだけに、課題解決に着実に取り組んでいく覚悟です。



手元に注目！！



自動走行機能搭載車

忙中閑有 パパは人気絶大、でも……。



長女美優、次女優菜はそれぞれ3歳と2歳。2人を相手するのは、とても楽しいが非常に疲れます。

仕事から帰宅は遅い。それでも、玄関のカギを開ける音で2人は「あっ、パパだ！」と走りながら玄関に。次女優菜は「待って～、美優、先行かないで～！」とお姉ちゃんの後を一生懸命にトコトコ追っかけてくるのです。

決まって、美優は「パパ、肩車っ！」とせがみ、優菜は「パパ、抱っこ！」とオネダリ。疲れて帰って「1人を肩車、もう1人を抱っこ」は辛いです。さらに、寝る間際、2人揃って「パパと寝る～」と。カミさんが「パパは疲れてるから」と言っても聞く耳を持ちません。

ベッドの上をジャンプしながら跳ね回る2人。「美優、優菜、もう寝

るよ！」と何とか寝かしつける。その後も大変なのです。寝入った2人は“縦になったり”、“横になったり”。突然、足が顔の上に乗ってくることも。2人を潰さないように端のほうで寝ながら、朝まで何度も布団をかけ直してあげるのです。

女子2人の「パパ、パパ!!」に相好を崩しデレデレのパパは、今日も睡眠不足です。